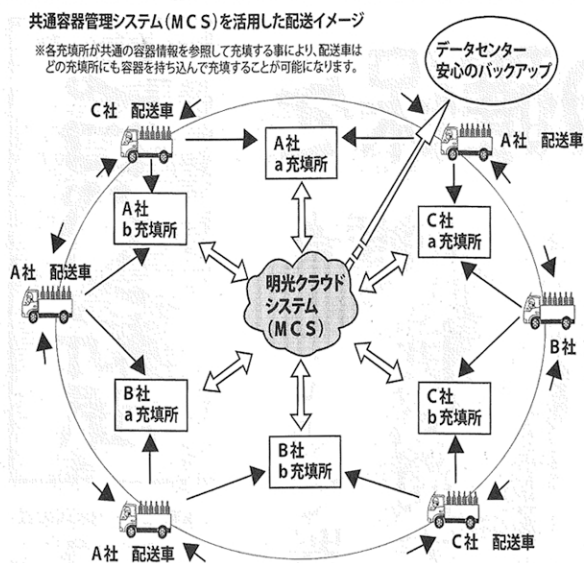


共通容器管理システム(MCS)を活用した配送イメージ

※各充填所が共通の容器情報を参照して充填することにより、配送車はどの充填所にも容器を持ち込んで充填することが可能になります。



明光産業

LPガス流通革命を実現
クラウド式充填管理システム開発

明光産業(東京・中央、小坂町)は、1月28日、LPガス業界の物流合理化とコストダウンを促進する充填管理システム「MCS(Meiko Cloud System)」を開発したと発表した。

これまで培ってきたコンピュータ充電の技術を生かしたシステムは、容器を登録している充填所以外には充電できないという、物流の最大の欠点を克服した。

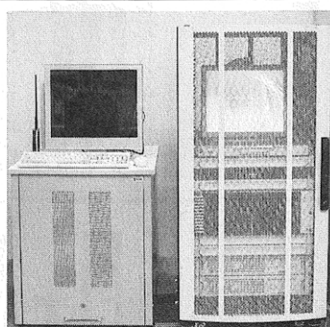
導入した際のMCSを、導入した際の充填所で充電が可能となった。一私物のシステムが入っている充填所なら、単価を話し合い、共同充填所でもエリアが決まれば、どこでも充電できる。中核充填所の緊急時の充電でも、電回線や媒体を使った新しい充電が可能となる。充填所の災害でも、データを常にバックアップしておく、迅速な復旧に大きく貢献できる。そのため、本社にバックアップシステムを構築し、大型コンピュータを導入した(小坂社長)。充填所だけでなくLPガス容器検査所にも対応する、システム構築にあたり、Pマーク(プライバシーマーク)を取得、顧客の大切なデータを預かる環境もハードを含めて体制を整備している。

サービスの概要は次の通り。

- 1、専用の充填管理システムは使用しない運用
- 2、専用の登録変更は従来の

通の各現場で行うの各現場で登録・変更されたものが、目下全社の容器情報に自動更新される。

- 2、大容量の容器に対しての近々の充填所を指定する容器、開放検査時の全面委託も考慮し400万本まで対応の充填しない容器をためておくのではなく、必要なときに無断で、必要に応じて無線LANでパソコンを接続して必要な分だけ登録される。
- 3、充填管理システム関連の資料は、パソコンで処理の充填データ、出荷データは各充填所に設置されたパソコンで処理される。プリンターは社内共有のプリンターに出力する。



本社に設置したバックアップシステム。中核充填所的な役割も

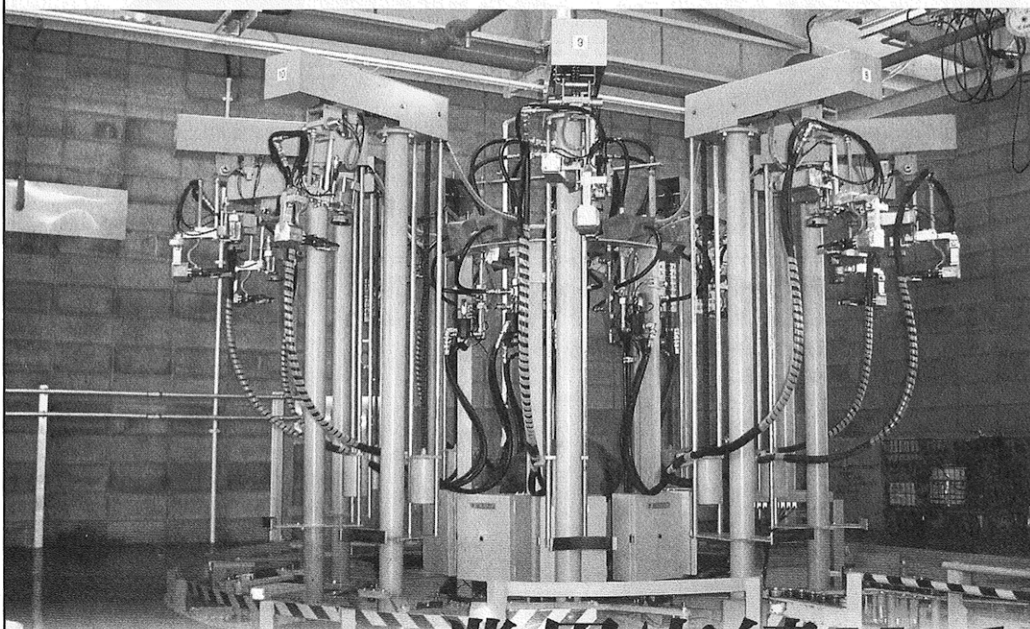
- 4、ハードウェアは5年ごとの更新の耐用年数を過ぎた古いハードウェアを使用しないため安定した運用の設備状況が一元管理できる。毎月の費用にシステム更新費用が含まれており、5年ごと更新の耐用年数を必要がない。
- 5、安心のバックアップ

①各充填所にある容器マスタは、充填所の機器内と明光産業のサーバーシステム、さらに外部データセンターと3重にバックアップされている。追加サービスとして、日々の充填データのサーバーへのバックアップも定期的に行っている。

- 6、費用は定額①ハードウェアの費用は毎月定額(リース方式)・充填所の登録本数を基準に設定②ハードウェアの保守費用も含む。価格③5000円以内④5000円以内⑤1000円以内⑥3段階に分けて、充填規模に合わせて選ぶので過剰な設備にならない。問い合わせは電話03-3600-3600(担当:進元氏)へ。

Meiko

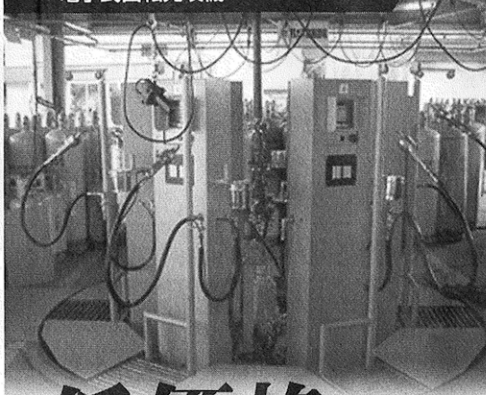
LPガス業界へ保安とコストの新提案!



電子式回転充填機: セミロボフィー

業界実績No.1

電子式回転充填機: MF-LC



電子式固定充填機: MWIII-M3

低価格

省力化と環境改善に挑戦する...

明光産業株式会社 <http://www.meiko-mtech.jp>

製造元 明光産業株式会社 東京都中央区日本橋堀留町1-2-15 TEL: 03-3669-3600
東日本代理店 日伸工機株式会社 東京都中央区日本橋堀留町1-2-15 TEL: 03-5645-8391
西日本代理店 タイセイ商事株式会社 大阪府大阪市西区阿波座 1-15-15 TEL: 06-6533-5091